



学校法人志賀学園
久之浜こども園
令和6年5月31日

園の花壇の紫陽花のつぼみに、雨上がりのしずくがキラリと光り、咲きかけのラベンダーから良い香りが漂っています。

梅雨の季節を迎え、ビオトープの周辺に蛙やカタツムリ、蟻やダンゴ虫がとび出してきて、子ども達の驚いたり喜んだりする姿が見られます。

ビオトープの周りに、赤いカラー帽子の年少組の子どもが十数人集まり、何か話しています。「大きいメダカがいたの!」「小さいメダカもいるの!」「メダカがかくれんぼしてしてるよ!」「ドジョウもかくれんぼしていた!」「ダンゴ虫もいた!」

「アリもいっぱいいたよ!」と見たこと気付いたことを我先にと話してくれます。

『小さい』『大きい』『いっぱい』と語彙が増えつつある3歳児です。

先日、砂場に山ほど砂が入り、子ども達は大喜びで砂遊びをしています。年長組の子どもが大きな山を作ると、その砂山をスコップで壊してしまうヤンチャな2歳児!そんなことがあっても、文句も言わず仕方がないなあという感じで、また山を作る5歳児。未満児専用の砂場にきて、シャベルで山を作ったり型抜きをしたりして一緒に遊ぶ4歳児。以上児の未満児への関わりから、あたたかいやさしさが伝わってきます。5歳児は特大の山を作ると川を掘って、水を流し始めたのですが、一人ずつ水を汲んできて流しても水が砂に滲みてしまい川になりません。そこで「協力してやろうよ!」というA君。「協力するってどうするの?」とK君。

「みんなで一緒に水を流すことだよ!」とM君。するとみんなが「いいね!」と水を汲んできて一斉に流し始め水はながれていきました。『協力する!』このの意味を知った出来事でした。

『夏至』は1年で最も昼が長く夜が短い日です。今年は6月21日です。この日を境に昼間の時間が少しずつ短くなって行きます。冬至に比べると昼が5時間近くも長いそうです。少しずつ変化する光や影などに目を向けてみるのも良いですね。

6月の第3日曜日は『父の日』です。家族のために働いているお父さんに「いつもありがとう」と感謝の言葉を伝えましょう。言葉に出して伝えることはとても大切なことです。3, 4, 5歳児は、おとうさんへ日頃の感謝をこめプレゼントを作りました。楽しみにしていてくださいね。